

平成30年度 経営発達支援事業 評価・見直し結果報告書

1. 評価機関名 東神楽町商工会 経営発達支援事業評価委員会
2. 開催日時 平成31年4月24日(水) 15時
3. 開催場所 東神楽町商工会 研修室
4. 出席者

- (1) 外部有識者

東神楽町産業振興課 課長 水上智幸 氏

- (2) 商工会

会長 秋山雅章

副会長 横溝政行 長田敏孝

事務局長 岩滝保

経営指導員 小泉大介

5. 内容

定刻となり、事務局が開会を宣し、秋山商工会長が開会挨拶を行った後、議事に入る。事務局は、平成30年3月16日に認定を受けた経営発達支援計画及び認定計画において交付を受けて実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況を国へ報告すること及び経営発達支援事業の評価・見直しを行う仕組みとして、本委員会によりPDCAを機能させていくことを説明した。

平成30年度において、経営発達支援事業を推進していくために実施した伴走型小規模事業者支援推進事業の実施状況は以下の通り。

(1) 平成30年度事業報告について

I 経営発達支援事業の内容

① 地域経済動向の調査に関すること

取組内容1：外部の経済動向調査

各機関が実施している景況調査から売上・収益・資金繰りの3点の前年同期比並びに並びに来期見通しを調査

北海道経済産業局・北海道商工会連合会・旭川信用金庫が実施している景況調査結果を小規模事業者へ情報提供しました。

各種情報を提供することにより、小規模事業者の経営状況に応じた事業計画策定データとして活用していただき、また持続的発展に繋がるようHP等により発信しました。

取組内容2：内部の経済動向調査

上記取組内容1の外部の経済動向調査と小規模事業者自身の環境変化の比較を、巡回訪問や決算確定申告時に行い、経営分析に活用し事業計画策定に結びました。

(決算確定申告指導時 49件 金融斡旋指導時 18件)

② 経営状況の分析に関すること

取組内容 1：事業計画策定を見据えた経営状況分析セミナーの開催

外部・内部の経済動向調査で、自社の財務状況を把握し、自社の強み・弱みを今後どのように改善すればよいのかを考えていただき、小規模事業者の経営分析に対する知識と必要性を意識させる経営分析セミナー（事業計画策定に向けた）を開催しました。

実績：1回（6名参加）

③ 事業計画策定支援に関すること

取組内容 1：事業計画策定セミナーの開催

② 経営状況の分析に関すること（取組内容 1 で開催のセミナー）は、本項目にも該当するものと考え実績とする。

取組内容 2：事業承継セミナーの開催

後継者がいる事業所（身内・第三者）、これから考えなければならない事業所に対し事業承継計画を策定するにあたり大切なこと・必要なこと、また準備しておかなければならないことを学ぶセミナーを開催しました。実績：1回（10名参加）

取組内容 3：事業計画策定個別相談会の開催

上記セミナー開催後、専門家（中小企業診断士）による個別相談会を開催し、自社の経営状況分析結果を踏まえ、専門家と連携しながら事業計画策定支援を行いました。（事業計画策定数 4件 ※創業計画含）

取組内容 4：創業者・第二創業者に対する支援

創業セミナーは開催できませんでしたが、巡回・窓口指導時に1件の創業支援を行い専門家と連携して個別相談会を開催し、創業までの支援を行いました。

3月に町内にて開業致しました。（飲食業 1件 個別相談会 2回）

④ 事業計画策定後の支援に関すること

取組内容 1：事業計画策定者へのフォローアップの実施

計画策定者への巡回訪問、専門家との連携による個別相談会（前記）を開催するほか国・道・町の行う支援策の情報を商工会だより等で周知しました。

⑤ 需要動向調査に関すること

⑥ 新たな需要の開拓に資する支援に関すること

今年度は、事業計画策定 ⇒ 計画実行 までを支援。

次年度、販路開拓支援・商談会展示会出展に向け上記⑤・⑥の支援を行う予定です。

II 地域経済の活性化に資する取組

取組内容 1：【TANE TO MI SELECT HIGASHI-KAGURA】地域ブランド向上に向けた地域イベントでのPR事業の実施

①フラワーフェスタ2018 ②ひがしかぐら花まつり ③あおぞら市 ④ウインターフェスティバルといった町内イベントにて、東神楽の種と実セレクト商品（地域特産品）を販売し町内・外へPR東神楽町の味を来場者に堪能していただきました。

※地域特産品：米・アスパラ・トマト・ハンバーグ

Ⅲ 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

① 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

取組内容1：事業計画策定者へのフォローアップの実施

全道商工会経営指導員研修会・上川管内商工会経営指導員研修会等において、伴走型支援ノウハウ、支援事例等について情報交換会を実施しました。基本的な知識や先進的な事例を学ぶことができ、円滑な小規模事業者支援へ繋がりました。

② 経営指導員等の資質向上等に関すること

取組内容1：研修会等への参加

中小企業大学校旭川校での専門研修（観光・地域資源活用による地域活性化の進め方）

実務的取組事例展開普及会議（ブランディング強化で販路開拓・伴走型支援推進事例）を受講し、担当支援者としての資質向上を図りました。

取組内容2：職場内研修（勉強会実施による情報共有）

半期毎に、上記研修会参加により学んだ支援スキルを全職員に報告することとあわせ、現状、今後の業務予定の確認や支援状況の確認を行い、組織的に情報を共有し、OJTにより伴走型の支援能力向上を図りました。

③ 事業評価及び見直しをするための仕組みに関すること

取組内容1：計画の実施状況について、評価・検証・見直しを実施

商工会理事会において事業の実施状況について報告。また、正副会長・東神楽町により年1回事業の実施状況、成果の評価、見直し案の掲示を行いました。

(2) 平成31年度事業計画及び予算について

事務局は、別紙資料に基づき伴走型小規模事業者支援推進事業を活用して平成31年度の事業の事業実施を計画している旨の説明を行いました。

